

授業科目 理学療法学概論

【担当教員名】 黒川幸雄	対象学年	1	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

理学療法の基盤となる概念・基礎知識を総論的に学習する。

理学療法士を目指す学生に求められている素質を理解し、自己の素質を高めるための基本的姿勢・態度・技能を習得する。

<行動目標：S B O>

- 1 理学療法の定義、歴史、倫理・哲学、領域、対象、業務、管理などについて概要を説明できる。
- 2 ICF（国際生活機能分類）、ADL（日常生活活動）、QOLについて、概要を説明することができる。
- 3 臨床における理学療法の現状と課題、チーム医療、他職種との連携について概要を説明できる。
- 4 教育、研究における理学療法学の現状と課題の概要を説明できる。
- 5 理学療法士の生涯学習システムや就職、進学、留学、国際協力の道などについて理解し、自己の将来計画を立てられる。
- 6 見学実習などで施設職員や患者さんと接するための技能や態度を身につける。
- 7 記録、報告書作成のための技能を習得する。
- 8 論文の読み方、文章表現、理数系の基礎知識などの知識・能力を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション、素質に関するアンケート・自己評価、「コミュニケーション技法」	6	講義 黒川
2	「理学療法とは」	1	講義 黒川
3	論文の読み方、文章表現など	8	講義、演習 黒川・補助
4	「ICF（国際生活機能分類）」、観察と記録、図式化	2, 7	講義、演習 黒川・補助
5	「ADL（日常生活活動）」、「QOL」	2	講義 黒川
6	「チーム医療」、「他職種との連携」	3	講義 黒川
7	「理学療法の現状と課題」	3	講義 黒川
8	「接遇」	6	講義、演習 黒川
9	「理学療法の臨床、管理」	1	講義 黒川
10	「教育、生涯学習システム、就職、進学」、国家試験、職能団体	5	講義 黒川
11	「留学、国際協力」、英語論文の読み方	4, 8	講義、演習 黒川・補助
12	「理学療法学と研究」、理数系の基礎知識	4, 8	講義、演習 黒川・補助
13	「私の将来計画」	5	討議 黒川・補助
14	アンケート・自己評価、まとめ	5	発表 黒川・補助

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	「理学療法概論 第4版」	奈良勲編	医歯薬出版	2002年 5,850円+税
	「理学療法白書 2002」	日本理学療法士協会編		2002年 1,000円
	「医学大辞典」	伊藤正男、井村裕夫、高久史磨編	医学書院	2004年 21,000円（税込）
参考書	「理学療法概論 第4版」	理学療法科学会監修/丸山仁司編	アイベック	2002年・3,500円（税込）
その他の資料	印刷教材を随時配布			

【評価方法】 出席、小テスト、課題提出物、 期末試験、以上の総合評価	【履修上の留意点】
--	-----------